

国際プロジェクトのケーススタディ(2011 年度夏学期)

月曜日 1 時限 (08:30~10:00)

担当: 堀井 秀之教授 (E-mail: horii@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

アシスタント: 小松崎 俊作研究員 (E-mail: komatsuzaki@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

概要:

国際プロジェクトに関わる事例を取り上げ、ケースメソッドによる学習を通じて、国際プロジェクトに関する知識、問題分析方法・能力、問題解決策立案方法・能力を習得する。

関連講義:

問題分析・解決に関しては、「社会技術論(学部3・4年, 冬学期, 堀井秀之)」で総合的学習を行う。社会技術・問題解決能力については、「社会技術特論(大学院・学部共通, 夏学期, 堀井秀之)」で、ケースメソッドを通じた実践的学習を行う。また、「国際プロジェクトの事例分析特論(大学院, 冬学期, 堀井ほか)」は本講義の上級講義である。

必修図書:

「ODA(政府開発援助)」(渡辺利夫・三浦有史, 2003, 中公新書)

参考図書:

「国際インフラ事業の仕組みと資金調達」(加賀隆一, 2010, 中央経済社)

「開発援助の社会学」(佐藤寛, 2005年, 世界思想社)

取り上げるケースと学習内容:

1. 水質汚染改善のためのマスタープラン作成 (FASID)

学習内容: ODA の基礎知識, PFI の基礎, PFI 導入後の ODA のあり方, 問題の全体像把握, 本質的問題の抽出, 問題解決策の立案

関連講義: 「プロジェクトマネジメント(学部3・4年, 冬学期)」

「国際プロジェクト序論(学部2年, 冬学期)」

「アジアの経済開発(学部3・4年, 冬学期)」

2. メキシコのマイクロファイナンス:コンパルタモス Conpartamos の課題(UT/Kennedy)

学習内容: アジア通貨危機, 鉄道事業の集客方法, 問題の全体像把握, 問題解決策の立案, 事業目的の設定とそれに基づく解決策の評価

関連講義: 「プロジェクトマネジメント(学部3・4年, 冬学期)」

「国際プロジェクト序論(学部2年, 冬学期)」

「社会技術論(学部3・4年, 冬学期)」

参考図書: 「マイクロファイナンス読本 途上国の貧困緩和と小規模金融」(岡本真理子・粟野晴子・吉田秀美, 2006, 明石書店)など

3. バンコク・第二首都高速道路プロジェクト(UT/Kennedy)

学習内容: BOT の基礎知識, BOT の問題点, バンコクの交通事情と交通政策, 問題の全体像把握, 意思決定分析, 問題解決策の立案, タイの政治

関連講義: 「プロジェクトマネジメント(学部 3・4 年, 冬学期)」

「国際プロジェクト序論(学部 2 年, 冬学期)」

「財務学(学部 3・4 年, 冬学期)」

「交通学(学部 3・4 年, 夏学期)」

「公共経営学(学部 3・4 年, 冬学期)」

参考図書: 「アジアの大都市(1)バンコク」(大阪市立大学経済研究所, 1998, 日本評論社)

「物語 タイの歴史」(柿崎一郎, 2007, 中公新書)など

ゲスト: ケースに登場する二宮孝夫氏を予定

4. 援助か干渉か:ペルーの 1997 年司法制度改革における世界銀行の意思決定(UT)

学習内容: 世界銀行の基礎知識, 南米およびペルーの政治, 問題の全体像把握, 意思決定分析, 問題解決策の立案

関連講義: 「国際プロジェクト序論(学部 2 年, 冬学期)」

「マネジメント原論(学部 3・4 年, 夏学期)」

参考図書: 「世界銀行 開発援助戦略の変革」(大野泉, 2000, NTT 出版)

「IMF と世界銀行—内側からみた開発金融機関」(大野健一・大野泉, 1993, 日本評論社)

「世界銀行と開発政策融資」(本間雅美, 2008, 同文館出版)など

ゲスト: ケースに登場する大野泉氏を予定

ケースタイトル末尾の()内は出典を表す.

FASID=「開発分野の教育と研修のための事例教材集 FASID ケースブック(I)」

Kennedy=「Kennedy School of Government Case Program, Harvard University」

UT=専攻教員らが独自に作成・編集したケース

利用ソフトウェア:

授業中のディスカッションやレポート等に利用する. とともにフリーソフト.

IdeaFragment2

<http://nekomimi.la.coocan.jp/freesoft/ideafrg2.htm>

iEdit

<http://homepage3.nifty.com/kondoumh/software/iedit.html>

スケジュール:

第1回	5月9日	導入(ケースメソッド概要, 問題分析方法), ケース1 配布・S.R.1(内容整理)
第2回	5月14日	ケース1 問題点分析(グループディスカッション)
第3回	5月16日	ケース1 解決策ディスカッション, ケース2a 配布・導入, S.R.2(戦略検討)
第4回	5月23日	ケース2a 経営戦略ディスカッション, ケース2b 配布, S.R.3(評価)
第5回	5月30日	ケース2b 戦略評価ディスカッション, ケース3 配布, S.R.4(年表作成)
第6回	6月6日	コンピテンシー説明, 開発援助の基礎講義
第7回	6月13日	ケース3 問題点分析ディスカッション, S.R.5(問題分析)
第8回	6月20日	ケース3 本質的問題ディスカッション, S.R.6(質問作成)
第9回	6月27日	ゲスト招待: ケース3における意思決定 ケース4 配布, S.R.7(問題分析・意思決定分析)
第10回	7月4日	ケース4 意思決定分析ディスカッション, S.R.8(質問作成)
第11回	7月11日	ゲスト招待: ケース4における意思決定
第12回	7月16日	国際政治・国際関係に関する基礎講義
第13回	7月18日	国際プロジェクトのプロジェクトマネジメントに関わるコンピテンシー
予備日	7月25日	

(S.R.はショートレポートの略)

(ゲスト招待はゲストの都合により日程変更の可能性はある。また、それに応じて第7～13回の講義スケジュールは入れ替わる可能性がある。)

成績評価:

出席	26%
発言	25%(加点式)
ショートレポート(合計)	27%
最終レポート	22%

注意: 本講義では未受験は認めない。上記成績評価で50%を切った場合には不可となるため、十分考えて履修登録をすること。

ショートレポートとは、授業中に課されるレポートを指す。たとえば、「現在分析中のケースについて iEdit または IdeaFragment2 で問題分析を行い、ファイルを来週日曜日までに提出せよ」など。